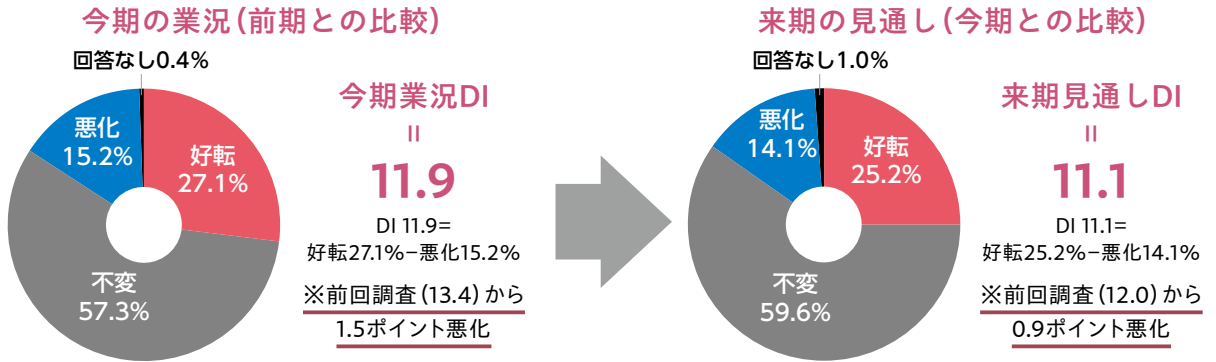


世田谷区における中小企業の景況

業況

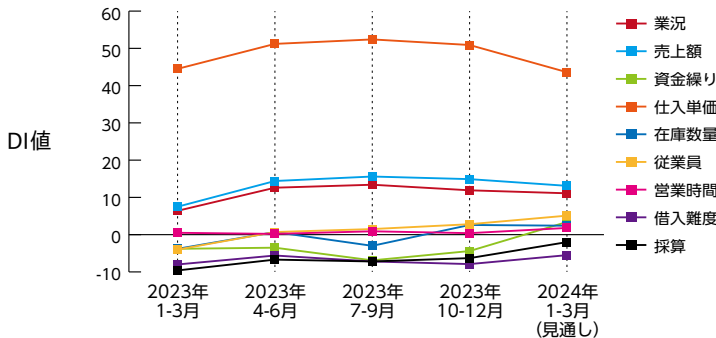
今期(2023年10~12月実績)の業況DIは、+11.9ポイントで前期から▲1.5ポイント悪化した。

来期の業況見通しDIは+11.1ポイントとなり、前回調査より▲0.9ポイント悪化する見通し。



主な指標別の傾向

今期は、在庫数量+2.6(前期比+5.6)、資金繰り▲4.4(同+2.5)、従業員+2.8(同+1.3)、採算▲6.3(同+0.9)の4指標でポイントが増加したが、それ以外は減少した。来期見通しでは、在庫数量+2.4(当期比▲0.2)、業況+11.1(同▲0.8)、売上+13.1(同▲1.8)、仕入単価+43.6(同▲7.3)の4指標で減少、資金繰り+3.4(同+7.8)、採算▲2.0(同+4.3)、借入難度▲5.5(同+2.4)など5指標でポイントが増加し改善が見込まれる。



業況	6.4	12.6	13.4	11.9	11.1
売上額	7.5	14.4	15.6	14.9	13.1
資金繰り	▲3.8	▲3.5	▲6.9	▲4.4	3.4
仕入単価	44.5	51.2	52.4	50.9	43.6
在庫数量	▲3.8	0.7	▲3.0	2.6	2.4
従業員	▲4.0	0.7	1.5	2.8	5.1
営業時間	0.5	0.2	0.9	0.4	1.8
借入難度	▲8.0	▲5.6	▲7.2	▲7.9	▲5.5
採算	▲9.6	▲6.7	▲7.2	▲6.3	▲2.0
	2023年1-3月	2023年4-6月	2023年7-9月	2023年10-12月	2024年1-3月(見通し)

主要景況指数表[今期の状況(前期比)]

(注)調査項目：業況(好転⇨悪化)、売上額(増加⇨減少)、資金繰り(好転⇨悪化)、仕入単価(上昇⇨低下)、在庫数量(増加⇨減少)、従業員(増加⇨減少)、営業時間(延長⇨短縮)、借入難度(容易⇨困難)、採算(好転⇨悪化)

	業況	前年同期比	売上額	前年同期比	資金繰り	仕入単価	在庫数量	従業員	営業時間	借入難度	採算
全体	11.9	18.0	14.9	20.0	▲4.4	50.9	2.6	2.8	0.4	▲7.9	▲6.3
製造業	2.0	3.9	7.8	9.8	▲7.8	56.9	7.8	5.9	▲5.9	▲9.8	▲13.7
建設業	6.3	14.6	4.2	13.5	▲1.0	63.5	3.1	3.1	▲2.1	1.0	▲11.5
不動産業	3.7	7.4	3.7	3.7	▲9.3	25.9	0.0	▲3.7	1.9	▲13.0	▲9.3
卸売業	8.1	14.5	14.5	19.4	3.2	46.8	1.6	8.1	3.2	▲1.6	▲6.5
小売業	27.7	32.7	38.6	37.6	▲5.0	69.3	5.9	2.0	2.0	▲12.9	3.0
サービス業	13.0	20.6	12.2	22.1	▲6.9	37.4	▲0.8	2.3	1.5	▲10.7	▲5.3

主要景況指数表[来期の見通し(当期比)]

	業況	売上額	資金繰り	仕入単価	在庫数量	従業員	営業時間	借入難度	採算
全体	11.1	13.1	3.4	43.6	2.4	5.1	1.8	▲5.5	▲2.0
製造業	7.8	13.7	▲3.9	47.1	5.9	0.0	2.0	▲5.9	▲7.8
建設業	11.5	13.5	7.3	53.1	▲1.0	8.3	4.2	3.1	▲6.3
不動産業	5.6	0.0	0.0	27.8	▲1.9	▲3.7	0.0	▲13.0	▲5.6
卸売業	11.3	8.1	6.5	43.5	9.7	0.0	3.2	▲1.6	▲3.2
小売業	8.9	17.8	▲2.0	55.4	4.0	1.0	2.0	▲7.9	▲3.0
サービス業	16.0	16.8	7.6	32.8	0.8	13.7	0.0	▲8.4	6.1

概況：〈DI(Diffusion Index)とは…〉DI(%)=「良い」「増加」等企業割合-「悪い」「減少」等企業割合

DIとは、各設問の項目について、「増加」「好転」したとする企業の割合から、「減少」「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値です。したがってDIがプラスを示している場合は、全体として「増加」「好転」とする企業が多く、景況(またはそれぞれの要素)が上向きの傾向にあることを示します。逆にマイナスを示している場合は、景況が低迷の傾向にあることを示します。